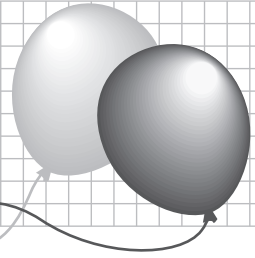


話題の広場



中央会事業より

第1回組合活力向上事業を実施

本荘由利地区生コンクリート協同組合



【研修会の様子】

7月14日(木)、由利本荘市の「ホテルアイリス」において、本荘由利地区生コンクリート協同組合(村岡兼幸理事長)を対象とした第1回組合活力向上事業を実施しました。

本事業は、保守・保全管理や品質管理の技術の向上により、生産性を高め、競争力の強化を図ることを目的として、今回を含め全3回の実施を予定しています。

事業の第1回目となる今回は、宮城県仙台市の東和工機株式会社常務取締役岡崎一雄氏を講師に招き、「生コン工場の緊急時を含むトラブルの未然防止のための保守・保全管理の向上と災害復旧について」をテーマに、研修会を開催しました。

研修会では、前段で東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県のプラントについての説明がありました。続いて、プラント点検表の事例を基に各設備に対する点検箇所や点検項目、点検の周期(頻度)や点検方法、判定基準等についての説明が行われました。岡崎氏は、「正常な状態を把握していなければ、異常は発見できない。トラブルを防ぐには、計画した周期に基づき、しっかりと点検を実施する必要がある。」と助言されました。参加者は、日常管理、特に5Sの重要性を再認識し、「トラブルには、あわてないで現状を把握することが、適切な対処につながる」という組合員工場の共通認識が醸成されました。また、保守を外部委託した場合、企業担当者の移動、トラブル箇所の把握に時間を要することから自社での維持管理を徹底していきたいとの声が多く聞かれました。

農商工連携人材育成スクール(全国中央会受託事業)「実地研修」を実施



【講演する青澤代表取締役】



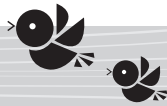
【工場視察の様子】



7月7日(木)、鹿角郡小坂町の「株式会社ベジ&フルあきた(青澤久夫代表取締役)」及び「小坂町交流センターセパーム」において、実地研修の第1回目を受講生19名の参加により実施しました。

当社は、平成5年に設立した乾燥・粉末加工を手掛ける食品メーカーで、県内では最も早く農商工等連携促進法に基づく農商工等連携事業計画(以下、農商工連携)の認定を受け、「ドレッシング」、「香味オイル」等を開発・販売しています。

実地研修は、講義と視察の2部に分けて実施され、講義では、青澤社長が「農商工連携が認定されたこのことによるメリットの1つとして、例えば、100万円程度必要な全国規模の展示会への出展費用負担が補助金を活用すると1/3程度で済むこと。毎年出展を繰り返すことで、多くのバイヤーと結びつくことができ、新たなビジネスチャンスが広がっていく。農商工連携制度は、地方の企業にとっては追い風であり、チャレンジする価値がある。」と話されました。



■岩手県の幼稚園児に絵本と励ましのメッセージを送ろう!

「絵本の『えん』むすびプロジェクト」へ協力

【秋田県トラック運送事業協同組合、秋田県物流センター協同組合】

6月24日(金)、岩手県の幼稚園児に絵本と励ましのメッセージを届けるプロジェクト「絵本の『えん』むすびプロジェクト」の全体出発式が潟上市の天王幼稚園で行われました。本プロジェクトは、官公需適格組合である秋田県トラック運送事業協同組合(齊藤正敏理事長)、秋田県国公立幼稚園PTA連絡協議会、秋田県教育委員会が協力して実施しました。6月28日(火)には、協力先である秋田県物流センター協同組合(齊藤正敏理事長)の組合員企業、株式会社丸五急送の佐藤利雄社長自らがハンドルを握り、岩手県釜石市、大船渡市、山田町の5つの幼稚園に絵本と励ましのメッセージを届け、園児たちから笑顔で迎えられました。

秋田県トラック運送事業協同組合の青山京子事務局長は、プロジェクトへの参加について、「多忙にもかかわらず運送に協力して頂いた佐藤社長には、大変感謝しています。官公需適格組合である当組合が、プロジェクトに参加でき大変うれしい。今後も、協力できることがあれば、率先して協力していきたい。」と話されました。



【絵本をしっかりと抱きかかえる園児たち】



インフォメーション

平成23年度 中小企業組織活動懸賞レポート募集中です

財団法人商工総合研究所では、中小企業の組織活動に携わっている方々からの実体験に基づく組合の活性化、新たな連携などに関する活動内容や成果の紹介、提言などを募集中です。

○テーマ テーマは自由です。

(テーマ例：①協同組合、商店街などの活動報告②企業組合の創業活動、活動報告③各種施策に基づく活動(商店街活性化や農商工連携等)の活動報告等)

○応募資格 中小企業の組織活動に携わっている中小企業者、組合事務局、中小企業団体中央会、商工会・商工会議所、交流や連携グループ、NPO等の実務者。個人での応募、グループでの応募、団体応募のいずれも可。ただし、本懸賞レポートの既入賞者(準賞の場合は除く)は応募できません。

○表彰 10点以内

○賞金 本賞各20万円 (※特賞 賞金30万円(ただし特に優れた作品1点))

○応募締切 平成23年10月15日(当日消印有効)

○募集の詳細に関するお問い合わせ先

財団法人商工総合研究所

〒135-0042 東京都江東区木場5丁目11番17号(商工中金深川ビル5F)

TEL: 03(5620)1691(代) FAX: 03(5620)1697

E-mail: sri@shokosoken.or.jp

URL: <http://www.shokosoken.or.jp/jyosei/soshiki/youkou03.htm>

平成23年度 第2回元気なふるさと秋田づくり支援事業補助金の募集について

秋田県では、県民が主体となった「元気なふるさと秋田づくり」を推進するため、県民や地域が取り組む自主・自立した地域づくり活動や、地域が元気になる活動を応援します。

○支援内容

事業名	活動内容	補助対象経費	限度額
イベント等 開催支援	地域資源を活用して、地域課題の解決や、地域を元気にするような新たなイベントを立ち上げたい	会場使用料、パンフレット等作成費、通信運搬費、イベント用設備費、消耗品ほか	補助対象経費の1/3以内 ただし限度額は600,000円 ※男女の出会いに関するイベントは1/2以内
講演会・学習会等 開催支援	地域のあり方を考えるための学習会などを開きたい	講師謝礼金、講師旅費、資料作成費、会場使用料ほか	補助対象経費の4/5以内 ただし限度額は200,000円

※事業内容につきましては、非営利的な内容に限ります。

○申込み手続き

所定の書類を各地域振興局に提出してください。審査委員会で審議のうえ、採択が決定されます。

○申込み期間期間

平成23年8月1日(月)～8月31日(水)

○申込みに関しましては、こちらをご覧ください。

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1270443946336/index.html>

※なお、詳細は、最寄りの地域振興局地域企画課または、県地域活力創造課企画・地域振興班までお問い合わせ下さい。

支援団体活動レポート

調査研究事業(先進組合・企業視察)を実施 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

秋田県中小企業団体事務局協議会(鳥居史郎会長)では、7月15日(金)～16日(土)の2日間に亘り、横手市及び山形県山形市において、調査研究事業を実施しました。

[1日目]横手市で自動車中古部品販売等のリサイクル事業を展開している株式会社サユウ(佐藤勇輝代表取締役社長：秋田県自動車解体処理協同組合理事長)において、当社の取り組みについて説明を受けた後、佐藤社長の案内により、「自動車の引き取り」→「フロンガスの回収」→「バッテリー・エアバッグの回収・破壊」→「中古部品の取り外し・再利用」→「金属類の分解」→「プレス作業」という一連の流れを見学しました。



【施設視察の様子①】
(株式会社サユウ)

[2日目]山形市の山二醤油醸造株式会社内で漬物を一層おいしくする漬物のたれ「魔法のたれ」を製造販売しているさとみの漬物講座企業組合(新関さとみ理事長)において、施設を見学後、組合の事業について説明を聞きました。新関理事長は「事業化にあたり、社会的な信用度を高めるため、同じ思いを持つ家族や親戚を募って企業組合を設立しました。組合員は、全員家族・親戚であり、以前から漬物についての知識を教えてもらっていた人達で、共通の目的意識を持って事業に臨んでいます。義母の作る漬物は元々近所からの評判も良く、その味を試行錯誤の末レシピ化し、『魔法のたれ』を完成させました。旬の素材を使い自分で作って食べて欲しい。」と話されました。



【施設視察の様子②】
(さとみの漬物講座企業組合)



【挨拶をする堀川会長】

7月8日(金)、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成23年度通常総会並びに第1回研修会が秋田市の「第一会館本館」において、会員34名の出席の下に開催されました。

通常総会開催の前には、組合士認定書の伝達式が行われ、本年度、新たに組合士に認定された谷山由美子氏(秋田電気工事協同組合)、山谷伸朗氏(能代山本生コンクリート協同組合)の2名に対し、本会本間調査部長より、認定書を伝達しました。引き続き、表彰式が行われ、優良会員として、佐藤章二氏(秋田県中古自動車販売商工組合)が秋田県中小企業組合士会会長表彰を受賞されました。

通常総会では、堀川会長の挨拶の後、平成22年度事業報告書、収支決算書の他、本年度の活動方針等を含めた平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)など全ての議案が満場一致をもって原案どおり承認・可決されました。

引き続き、第1回研修会が行われ、株式会社商工組合中央金庫秋田支店辻憲一支店長を講師として「今だから秋田県の中小企業ができること・すべきこと」をテーマに講演が行われました。辻支店長からは、「東日本大震災の被害等、経営環境は厳しいが、この状況乗り越え、生き残っている企業こそが、できること・すべきことを実践してきた企業である。また、組合・組合士・組合士の役割として、組合役員や事務局が組合員の話をつじくりと聞き、組合員のニーズ把握に注力することが、求められている。そうすることで少しでも問題を解決できるのではないか。」力説され、出席者一同熱心に聴講しました。

その後、懇親会が行われ、秋田県中小企業団体中央会高橋清悦専務理事の祝辞の後、協同組合秋田卸センター桑原功理事長の乾杯の発声により開宴され、会員同士の懇親を深め、盛会理に終了しました。



【講演をする辻支店長】



【第1回研修会の様子】

平成23年度 通常総会・視察研修会を開催

～あきた食品振興プラザ～

あきた食品振興プラザ(後藤一会长)では、7月5日(火)、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、平成23年度の通常総会を開催しました。

通常総会では、後藤会長の挨拶の後、平成22年度事業報告書、収支決算書その他、平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)など全ての議案が満場一致をもって原案どおり承認・可決されました。

本年度の事業計画では、農林水産省の農山漁村6次産業化対策に係る「6次産業推進地域支援事業」を活用した研修会の開催や先進地視察等の人材育成事業を実施することにしています。

議案審議の後、来賓を代表して秋田県産業労働部食品産業課食農観連携推進班和泉克主幹より祝辞が述べられ、通常総会を閉会しました。

引き続き、懇親会が行われ、秋田県農林水産部流通販売課草薨作博課長並びに財団法人あきた企業活性化センター佐々木誠理事長からの祝辞の後、秋田県生活環境部生活衛生課食品安全・安心班庄司浩久副主幹の乾杯の発声により開宴、参加者の交流を深め盛会理に終了しました。



【通常総会の様子】

【今月のキーワード】『農山漁村6次産業化とは?』

農林漁業者が生産・加工・流通(販売)を一体化し、所得を増大させるため、産地ぐるみで経営の多角化・複合化、農林水産物・食品の輸出等に取り組むことや、2次・3次産業と連携して地域ビジネスの展開、新たな産業の創出、農商工連携の推進、バイオマス・エネルギーの利用等により儲かる農林水産業を実現するための取り組みです。

「ニッポンの笑顔」秋田から！

共同アピールセレモニーを開催！

7月16日(土)、秋田市の秋田駅前「アゴラ広場」において、『「ニッポンの笑顔」秋田から！共同アピールセレモニー』が秋田県の主催で開催されました。

共同アピールは、東日本大震災による経済の低迷、特に過度の消費自粛がもたらす観光宿泊業や飲食業等の極端な落ち込みが、地域社会全体の活力を失うことになり、その長期化は本県にとって深刻な課題となっている中で、秋田県が自ら率先して消費行動を起こし元気になり、被災県を含めた東北、日本全国を活気づけていく宣言を、県内経済団体等が共同でアピールするために開催されました。

当日は、観光応援・消費拡大PR活動として、県内観光地のPR、高校生による「なまはげ大太鼓」の演奏や「西馬音内盆踊り」の披露が行われました。

また、「とれたて秋田をまるかじり！あきた産デーフェア～夏野菜の収穫祭～」も開催され農産加工品等が販売されるなど、終日多くの人で賑わいました。



【ニッポンの笑顔秋田から！ロゴマーク】



【挨拶をする佐竹敬久秋田県知事】

県民こそって必ず受けてね「ガン検診」！

「がん検診推進キャラバン」が本会を訪問

7月7日(木)、秋田県のがん検診推進キャラバン隊が来会し、がん検診の受診を呼びかけました。キャラバンでは、秋田県スギッチ主任が、『県民こそって必ず受けてねガン検診』ののぼりを手にPRしました。

○ガンを防ぐための12か条

- ① バランスのとれた食生活を
- ② 野菜、果物を豊富に
- ③ 食べ過ぎを避け、脂肪摂取は控えめに適切な体重の維持
- ④ 塩辛い食品は控えめに熱いものはさましてから
- ⑤ たばこは吸わない、お酒はほどほどに
- ⑥ 適度に運動
- ⑦ 規則正しい日常生活を
- ⑧ 発がんリスクに注意：紫外線、放射線、焦げた食品、かびが生えた食品
- ⑨ 肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルス、ピロリ菌の感染予防と治療
- ⑩ 定期的なガン検診を
- ⑪ 身体の異常に気がついたらすぐに相談を
- ⑫ 正しい情報とガンの性質の理解



【本会高橋専務理事とスギッチ主任】

あなたとあなたの大切な人のために、ちょっとした心がけで、ガンを予防できます。

〔秋田県健康福祉部健康推進課がん対策室作成パンフレットより〕



組合ティールーム

秋田県菓子工業組合

理事長 後藤 一さん

◎理事長としての抱負

組合の役割・使命として、組合員に対する有益な情報の提供が重要であると考えています。今は、半年先ですら見通すことが難しい時代であり、このような時だからこそ、組合として正しい情報を発信し、組合員には、有効に活用して欲しいと考えます。また、時代の変化とともに組合も変わっていく必要があると思います。商売の方法も以前とは異なっており、他店との差別化や待ちの体制からの脱却が大切です。そのためにも、組合というネットワークを活用し、組合員間の交流・連携の中から様々な情報を得ることができるような体制を構築していきたいと考えています。



◎業界からの要望について

現在、6次産業化が推進されていますが、秋田県では、まだ、1次産業と2次・3次産業の横の繋がりが弱いと感じます。1次・2次・3次産業が、本当の意味で連携できるような体制づくりを望みます。

◎座右の銘について

座右の銘は、米沢藩藩主上杉鷹山公の「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」です。変化の激しい時代の中で、昔からのやり方だけではなく、新しいことに対しても工夫して真剣に取り組み、実行することが大切だと思います。

◎趣味について

趣味は、読書、音楽鑑賞です。読書は、ノンフィクションの歴史物が好きで、現在は古代ローマについての書籍(全40巻)を読破しようと読み耽っています。音楽鑑賞は、学生時代からクラシックが好きで聴いています。また、ビートルズも学生時代に友人から影響を受け聴いています。

**平成23年度
中小企業組合
検定試験**

受験資格
特になし
(ただし、組合士として認定されるには
組合等での実務経験が必要です。)

試験科目
●組合会計 ●組合制度 ●組合運営

試験日
平成23年12月4日(日)

試験地
札幌、青森、仙台、秋田、郡山、さいたま、
東京、長野、静岡、名古屋、大坂、
松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、
長崎、大分、鹿児島、那覇

願書受付期間
平成23年9月1日(木)～10月14日(金)

受験料
5,000円
(一部科目免除者は3,000円)

その他
お申し込み方法など詳しいことは、最寄りの
都道府県中小企業団体中央会にお問い合わせ
下さい。

お問い合わせ先
都道府県中小企業団体中央会
全国中小企業団体中央会
TEL 03-3523-4907
<http://www.chuokai.or.jp/>

主催 / 全国中小企業団体中央会
後援 / 中小企業庁
協力 / 都道府県中小企業団体中央会

検定試験を受けて

JUST TRY

2011.12.4

〈SUN〉

1組合 1組合士

組合のあしたを拓く組合士

組合士になるのー！